



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	16,398.57	52.12	0.32	-4.38	-5.89	17,425.03
NASDAQ	4,637.99	-5.64	-0.12	-5.41	-7.38	5,007.41
日経225	17,697.96	-69.38	-0.39	-7.02	-7.02	19,033.71
上海総合	3,016.70	-169.71	-5.33	-8.48	-14.76	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,192.45	-169.11	-5.03	-7.97	-14.43	3,731.01
ハンセン	19,888.50	-565.21	-2.76	-6.75	-9.24	21,914.40
H株	8,505.16	-340.73	-3.85	-8.66	-11.96	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は6.7%安と続落、上海総合指数は10.0%安

ハンセン指数は1週間で6.7%安と大幅続落。中国本土株の急落をきっかけに世界株安の様相が強まった。人民元安を受けた資本流出への警戒感、中東・北朝鮮の地政学リスクの高まりなど悪材料が重なり、投資家心理が悪化。ハンセン指数は7日まで4日続落で3カ月ぶりに21000ポイントを割り込んだ。上海総合指数も1週間で10.0%安と大幅続落。資金流出懸念に加え、大株主による株式売却禁止措置の解除への警戒感から売りが膨らんだ。導入されたばかりのサーキットブレーカーの発動も混乱に拍車をかけた。

今週の展望:香港市場は値動きの荒い展開か、本土市場の動向に左右される公算

香港市場は値動きの荒い展開か。本土市場を震源とした市場の動揺が続いており、今週も本土市場の動向に左右される展開が見込まれる。特に中国の外貨準備の減少額が過去最大になるなど資金流出への警戒感が根強い中、人民元相場の下落が止まるかどうか焦点となる。一方、本土市場も値動きの荒い不安定な展開が見込まれる。上海総合指数は3000ポイントをめぐる攻防となりそうだが、中国政府が追加の株価維持策を打ち出してくれば相場の反転もあり得る。ただ、期待外れに終わればさらなる下落の可能性も。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

直近終値 (HK\$) 騰落率 (%)

1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

▼値下がり

直近終値 (HK\$) 騰落率 (%)

1	サズ・チャイ(01928)	22.30	-13.40
2	華潤置地(01109)	18.68	-13.32
3	中国海外発展(00688)	22.60	-12.40
4	銀河娛樂(00027)	21.40	-12.30
5	昆侖能源(00135)	5.93	-11.76
6	ペトロチャイ(00857)	4.45	-11.35
7	中国平安保険(02318)	36.35	-11.02
8	中国人寿保険(02628)	21.40	-10.08
9	康師傅控股(00322)	9.68	-10.04
10	恒安国際集団(01044)	65.05	-9.78

▼今週の期待材料

- ◆中国当局がサーキットブレーカー制度の停止、大株主による株式の売却制限措置を相次いで発表
- ◆相場下落続くようなら、中国政府が追加の株価維持策を打ち出してくる可能性も
- ◆今週末にアジアインフラ投資銀行(AIIB)の開業式典開催、インフラ関連銘柄への期待が高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆8日発表の米雇用統計が予想を上回る強い結果に、早期の追加利上げ観測が相場の重しに
- ◆中国の12月のPPIは5.9%低下、弱い指標を受けて景気の先行き懸念強まる公算
- ◆中国の外貨準備高が12月に過去最大の落ち込みに、資金流出に対する警戒感が高まる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国中鉄 (00390) : 16日にAIIBの開業式典、インフラ建設銘柄への期待高まる公算
- ☆ 恒安国際集団 (01044) : スナック部門の分離上場を検討、衛生用品事業に資源集約へ
- ☆ 海通証券 (06837) : 12月の営業収益は13%増と堅調、純利益も19%増加
- ★ ササ・インターナショナル (00178) : 10-12月期の売上高は14%減と苦戦続く
- ★ 裕元工業 (00551) : 15年の純売上高は5.3%増、12月単月では0.9%増に伸び率鈍化
- ★ 龍源電力 (00916) : 12月の発電量は13%減、うち風力発電は12%減の233万MWh
- ★ シノペック石油工程技術服務 (01033) : 15年の通期業績は98%の大幅減益見通し
- ★ TCLマルチメディア (01070) : 12月の液晶テレビ販売台数は2%増、伸び率鈍化
- ★ 瑞年国際 (02010) : 空売り業者があらためてリポート発表、投資価値ゼロ判断を維持
- ★ 華泰証券 (06886) : 12月の純利益は前月比41%の大幅減、営業収益は同8%増

▼今週の主なイベント

- 1月13日(水)
- 【中国】貿易統計(12月)
- 1月16日(土)
- 【中国】AIIB開業式典(18日まで)
- 【台湾】総統選挙

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。